

特許第3526285号 昇降式ブリッジ(操舵室)

正式名称:昇降装置付操作室を備えた押船

推進力を持たない作業船・台船・土運船等を移動する際に使用する「押船」。

書いて字のごとく対象物を押して航行する船です。押航時、押船は台船等、対象物の後方に位置する為、対象物や積載物品の大きさによっては視界をさえぎられる事も多く、視界を確保する為、右写真の船の様に通常の操舵室とは別にヤグラで高く上げた押航用操舵室を装備し視界不良時はそこで操船する方法をとっていましたが、どうしても重心が高くなる為、揺れが大きく乗り心地が悪くなる問題がありました。



おうこうようそうだしつ
押航時用操舵室

そうだしつ
操舵室



昇降式ブリッジを装備した当社の押船 「たか」「はと」

(水面上視点を5.5mから9.0mの間で自由に変更可能)

高砂建設では押航対象物の高さによって操舵室の高さを調節できる昇降式ブリッジを開発。対象物の高さが低い場合や独船時には操舵室を下げることによって低重心化し安定性を、対象物の高さが高い場合には操舵室を上げ良好な視界を得る事を実現しました。

とくに浚渫土砂を運ぶ土運船は土砂を積む前と積んだ後では高さが約3.5メートルも変化するのですが、その変化量にも対応可能です。

